

「第1回和歌山市ワカモノ会議」

(令和6年12月22日開催)

実施報告書



共催 和歌山市

和歌山市教育委員会

和歌山市青少年育成市民会議

第1回「和歌山市ワカモノ会議」開催要項

1 開催趣旨

和歌山市の未来を担う若者たちが、和歌山市のさらなる発展や住みよいまちづくりのため、自分自身の関心を持っていること、感じていることや市政へのアイデアを提言する機会をつくり、市政やまちづくりへの関心を高め、市政への参画意識を高めることを目的とする。

そして、若者の意見を市が聴取することで、市政運営の参考とする機会とする。

また、世代間・学校間を超えて、生徒や学生が交流することで、新しいつながりが生まれお互いを高め合える機会を創出します。

2 会議テーマ

「住みたい、住み続けたいと選ばれるまち和歌山市」

3 共 催

和歌山市・和歌山市教育委員会・和歌山市青少年育成市民会議

4 応募資格

市内に在住する高校生・大学生及び市内の高校・大学に通学している方
応募はグループでの応募とし、1グループは4人までとします

5 参加者

- ・ 3大学5チーム17名（宝塚医療大学・和歌山信愛大学・和歌山大学）
- ・ 6高校6チーム22名（開智高等学校・近畿大学附属和歌山高等学校・桐蔭高等学校・智辯学園和歌山高等学校・和歌山北高等学校・和歌山市立和歌山高等学校）
- ・ 合計…9校11チーム39名

6 和歌山市ワカモノ会議開催スケジュール

開催日時 令和6年12月22日(日)午後1時から

開催場所 和歌山市役所14階大会議室

内 容 各々の参加チームにより、会議テーマ「住みたい、住み続けたいと選ばれるまち和歌山市」にするための提言を発表してもらう。

スケジュール 5月29日(水)午後6時から 7階記者会見室「事前説明会及び意見交換会」

7月 7日(日)午後1時から 14階大会議室「オリエンテーション」

7月29日(月)午後6時から 14階大会議室「相談会」

10月11日(金) 「提案書原稿提出〆切」

10月29日(火)午後6時から 14階大会議室「発表リハーサル」

12月22日(日)午後1時から 14階大会議室「和歌山市ワカモノ会議」

7 開会あいさつ(市長:要旨)

今日は、和歌山市ワカモノ会議に参加いただきありがとうございます。和歌山市ワカモノ会議は、皆さんが主役となって和歌山市の事を考えていただく会と思っています。

今、地方は大都市へ若い人がどんどん流出し、少子高齢化に伴って地方の行政は大変な状況となっています。2050年には、全国で1700ある自治体の約4割が消滅する可能性があると言われており、和歌山県内では30市町村のうち約8割近くの23市町村が自治体として消滅する可能性があるのではないかとされています。



若い人が地方へ出ていくのは、1つは高校から大学に進学する時で、県内では約9割が出て行っていました。大学誘致で約8割近くまで改善されてきましたが、8割くらいが出ていく。

そして就職する時出て行って戻って来ないのが18歳から25歳くらいなんですけど、和歌山市の特徴かも知れないが、25歳から30歳まで和歌山市を出ていく時期がある。いろいろあるけれど、たぶん転職かな。和歌山で勤めたけれど県外へ行ってしまふ。

そんな中で、和歌山市あるいは和歌山県に住みたいなって思ってもらえるまちってどんなまちかなということを考えていただく会と思っています。発表いただいて、こちらからも質問するけど、なぜ行政はこんなことできないと、逆質問してくれてもいいと思っているので忌憚のない意見交換をしていただければと思います。

8 各グループの発表内容

①学 校 名 和歌山大学

チー ム 名 和歌山大学 Tourism Team
(メンバー2名)

テ ー マ みその商店街から癒しとくつろぎの
空間へ

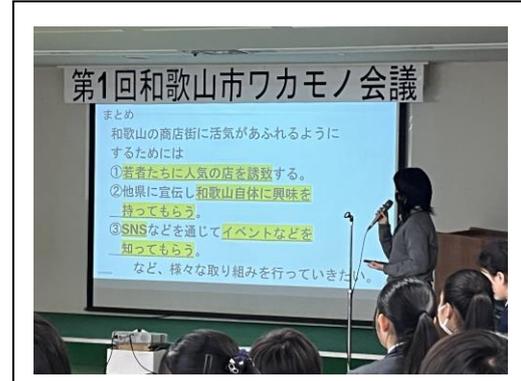
内 容 みその商店街に芝生広場「わかしば」を整備し、ベンチ、トイレ、レストランを設置し、季節に応じイベント開催。また、休憩でき、和歌山県の観光情報やイベント情報を知ったり、和歌山駅周辺の飲食店ガイドを配置したコミュニティ施設を設置する。



②学 校 名 智辯学園和歌山高等学校
 チーム名 チベンジャーズ(メンバー4名)
 テーマ みその商店街の活性化
 内 容 シン・みその構想として、防災体験コーナー、総合体育館を設置。体育館の屋上には公園を設置。レンタサイクルの拠点設置。体育館でイベント開催。



③学 校 名 和歌山市立和歌山高等学校
 チーム名 和歌山市立和歌山高等学校生徒会チーム(メンバー2名)
 テーマ 商店街の再建に向けて
 内 容 ぶらくり丁やみその商店街に、若者に人気の店を誘致。他県に宣伝し和歌山自体に興味を持ってもらう。SNSなどを通じてイベントなどを知ってもらう。



④学 校 名 近畿大学附属和歌山高等学校
 チーム名 チーム近和歌(メンバー4名)
 テーマ 商店街の活性化
 内 容 みその商店街とぶらくり丁の賃貸料や地価の値下げ。SNSでの拡散。リニューアルでレトロや異国情緒のある商店街に。



⑤学 校 名 開智高等学校
 チーム名 kakoichi(メンバー4名)
 テーマ 和歌山駅周辺の活性化
 内 容 和歌山駅を立て替え高架化する。1階は駐車場や商業施設に。駅前にデッキを設ける。みその商店街に若者向けの店、外食チェーン、ドラッグストア、カラオケなどを。雨でも駅から濡れずに行けるようにする。



- ⑥学 校 名 桐蔭高等学校
 チーム名 桐蔭高等学校 社会部
 (メンバー4名)
 テー マ 清らなる都市形成への提言
 内 容 立ち止まる。不便を楽しめるように人々が
 ゆとりを持つ。いろいろなところに「椅子」
 を置く。東屋を建てる。風流人のまち。



- ⑦学 校 名 和歌山北高等学校
 チーム名 ゆめきた(メンバー4名)
 テー マ ゲームで育む「和歌山愛」
 内 容 ゲームを通じ、和歌山を知り、和歌山を
 楽しみ、和歌山に貢献したい意欲を育
 む。それにより和歌山愛を育て、和歌山
 市に住み続けてもらう。



- ⑧学 校 名 宝塚医療大学和歌山保健医療学部
 チーム名 チーム学友会(メンバー4名)
 テー マ 和歌山市にチーム医療で未来につ
 なが
 ～医療観点から住みやすい街に～
 内 容 妊婦に対するいろいろな補助やサポート
 の充実。リハビリや看護の専門職を増や
 す取組を行う。



- ⑨学 校 名 和歌山信愛大学
 チーム名 和歌山信愛大学ラポールチーム
 (メンバー3名)
 テー マ 安心安全な居場所の創出
 内 容 子どもの居場所を作る。ワカモノがサーク
 ルで運営支援。大学間でもつながる。



- ⑩学 校 名 和歌山信愛大学
 チーム名 チームはびねす(メンバー4名)
 テー マ CCSP化計画の実現に向けて
 内 容 本町公園をチャイルドケアサポートポイントに。学生が専門知識を生かし、サークルやボランティアで子育て支援。



- ⑪学 校 名 和歌山信愛大学
 チーム名 和歌山信愛大学5期生
 (メンバー4名)
 テー マ 和歌山市の大学が1つとなって
 文化祭を開こう
 内 容 和歌山市の7校の大学から参加校が
 合同で文化祭を開催。若者向けイベント。
 大学を知ってもらおう。大学同士でつながる。
 大学生と企業がつながる。



9 市長講評(要旨)

各チームの皆さんお疲れさま。各チームの発表を聞かせていただいているほどと思う点と意外だなと思うところがありました。一番意外だなと思ったのは、みその商店街にそんなに注目してくれていたんだなということです。



テーマが「住みたい、住み続けたいまち和歌山市」ということで幅広いテーマ過ぎたかなと思います。

今、和歌山市は人口がどんどん減ってきた。人口減るのはやむを得ないが、年齢構成がいびつになっていることが大きい。若い人が和歌山市に居たい、あるいは戻りたいけれどなかなか戻れないところは、我々しっかりやっつけていかないとならないと思っています。

いろいろな職業がIT化DX化により、テレワークなどにより、その場所に住まなくてもどこでも職業ができるよう

になり、住む場所を選んで、職業を選ばなくて済んだり、逆に、エッセンシャルワーカーのように地域に根差す職業もある。地域に住んでもらうことが大切になる。どうやって住んでもらうかは、立ち止まろうとする方、そのままでもいいという方、頑張ろうという方、様々な価値観があって、過去のトレンドでは和歌山市は維持できない。トレンドを変えようと多くの人が立ち上がってくれている。和歌山市だけでなく民間企業の方々が、例えばイルミネーション、ドローンも皆でやろうと立ち上がってくれて、和歌山市を盛り上げたいという方々が非常に多くなっている。ディズニーパレードとかお堀の水を抜くとか、和歌山市ってちょっと面白くなってきたねと言われたい。今日の皆さんの提案をしっかり受け止め、行政だけでなく皆さんと一緒にまちづくり、社会づくりをしたいので、是非、今日提案いただいたことを受けて、積極的に参画いただければと思います。今日はどうもありがとうございました。 5

10 閉会あいさつ(和歌山市青少年育成市民会議宗副会長)

皆さん、大変お疲れさまでした。

皆さん、本日は、市政に対しての貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。



和歌山市の人口が減少している中、住みたいまちにするにはどうすればいいのか、それぞれのチームで市の課題と解決策を研究し、発表していただきました。若者の自由で闊達な発想の下、たくさんの素晴らしい意見を聞かせていただきました。

さて、この「和歌山市ワカモノ会議」という事業は、学校間・校種間を越えて学生が交流することで、新しいつながりが生まれお互いを高め合える機会となることを願って、開催しています。皆さんが共有したこの時間は、きっと有意義なものになると思います。

今日「和歌山市ワカモノ会議」に参加し、何か新しい発見をした方は、この経験をこれからの学校生活や人生において、是非とも活かしていただきたいと思います。

皆さんの考えや行動が大きな力となって、和歌山市を住みやすいまちに変えて行く事になると信じています。

最後になりましたが、当事業の開催にあたりまして、ご尽力をいただきました各高校・大学の先生方をはじめ、関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。

11 参加者の感想

- ・普段から感じる課題と、そういう視点もあるかという課題も学んだ貴重な機会となった。
- ・高校生だけでなく、大学生とも交流の時間を持って、同じ課題でもいろいろな視点があった。
- ・今後の和歌山についていろいろな意見を聞いた
- ・市に対して意見を言えた貴重な機会だった。アドバイスや質疑を通して内容を確認でき楽しかった。
- ・高校生だけでなく大学生と交流できた。自分たちの意見だけでなく様々な意見が聞けた
- ・市に自分の意見を発表する場は本当に無いので良かった。1つのことをこんなに考える機会はなかったので良い経験になった。
- ・和歌山市のことについて考え、和歌山市の魅力を再確認できた。
- ・高校や他の大学の方に、専門職について知ってもらえて良かった。行政の事も知れたので今後の学びにつなげたい。
- ・和歌山市の課題を漠然と考えることはあるが、しっかり考える良い機会となった。高校生がこんなにしっかり考えて発表している姿にすごいなと思い、良い刺激となった。
- ・和歌山市の課題をあまり考えたことなかったので、しっかり考える機会となった。今後の人生につなげていきたい。
- ・教育の事も考えたが、他に無いものということで提案した。学生で止まってしまうのもったいないので、市でも検討してもらいたい。

令和6年12月

和歌山市教育委員会 青少年課 作成